

## 自己評価(一次評価)について

(案)

令和 年 月 日

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価

四日市市地域公共交通活性化協議会

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月26日

協議会名: 四日市市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
三重交通株式会社	こにゅうどうくんライナー(1系統) 県立総合医療センター～小山田病院	【評価対象期間における前回の評価結果を受けての対応状況】 ・商業施設と連携した利用促進イベントなど、地域の方々に知ってもらい乗ってもらえるようなきっかけ作りにつながる取組の検討や実施 →利用促進イベント「こにゅうどうくんライナーで健康&お買い物ツアー」を昨年度から引き続き、令和6年3月21日に実施した。 また、恒常的にこにゅうどうくんライナーに乗ってもらうために、利用者に対し沿線の大型商業施設内で使用できる買い物割引券を配布する企画について検討した。	A ・運行は計画どおりに実施した。	A ●1日あたりの利用者数 【目標】23人以上 【実績】25.1人 【対目標値】109% ・目標達成できた。  ●収支率 【目標】7.0%以上 【実績】7.0% 【対目標値】100% ・目標達成できた。	・更なる利用者増加を図るため、利用者に対して沿線の大型商業施設内で使用できる買い物割引券を配布し乗車を促すような、取り組みを実施する。(市、交通事業者、商業施設) ・更なる利便性向上のため必要に応じてダイヤ変更を実施する。(市、交通事業者) ・令和4～5年度に実施した利用促進イベントについて、内容や周知方法を工夫し、より多くの方に参加いただけるよう引き続き実施する。(市、交通事業者)

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年12月26日

協議会名:	四日市市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>・四日市市では、輸送力や定時性に優れる鉄道網を維持するとともに、バスやタクシー等の公共交通が相互に連携し、都市機能が集積する中心市街地を中心とした効率的な交通ネットワークの構築を目指している。</p> <p>・四日市平田線が近鉄四日市駅と鈴鹿市を南北に結ぶ幹線であり、イオンタウン四日市泊(乗り継ぎ拠点)で接続することにゆうどうくんライナーは、市南西部の住民の中心市街地、鈴鹿市方面へのアクセス手段を確保するため不可欠である。</p> <p>四日市市都市総合交通戦略及び四日市市地域公共交通計画に掲げる取り組みの方向に基づき、引き続き持続可能な魅力あるまちづくりに取り組む。</p> <p>【取り組みの方向(戦略)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自由に移動し交流できる公共交通体系づくり</li> <li>②円滑な交通を支える道づくり</li> <li>③まちなかの賑わいづくり</li> <li>④市民・公共交通事業者・行政の連携づくり</li> </ol>

利用状況

年月	小山田病院発	県立総合医療センター発	合計	1日あたりの乗車人員数
令和5年 10月	314	223	537	25.6
令和5年 11月	279	175	454	22.7
令和5年 12月	295	203	498	23.7
令和6年 1月	253	187	440	24.4
令和6年 2月	257	214	471	24.8
令和6年 3月	302	220	522	26.1
令和6年度 上半期	1,700	1,222	2,922	24.6
令和6年 4月	318	227	545	26
令和6年 5月	304	229	533	25.4
令和6年 6月	278	200	478	23.9
令和6年 7月	326	242	568	25.8
令和6年 8月	253	193	446	24.8
令和6年 9月	297	241	538	28.3
令和6年度 下半期	1,776	1,332	3,108	25.7
令和6年度 通年	3,476	2,554	6,030	25.1

収支状況

	経常収入 (円)	経常経費 (円)	収支率 (%)
令和3年度	1,093,948	14,244,104	7.7
令和4年度	989,515	14,750,608	6.7
令和5年度	1,064,249	15,378,344	6.9
令和6年度	1,110,949	15,918,097	7.0

利用促進イベント

こにゅうどうくんライナーで健康&お買い物ツアー

こにゅうどうくんライナーに乗って、イオンタウン四日市泊に来ていただき、イオンタウン四日市泊内で理学療法士による健康体操を実施。また、施設内のマックスバリュで使用できるクーポンを配布し、お買い物を楽しんでいただき、ツアーを昨年度に引き続き、開催した。

〈実施日〉

令和6年3月21日

〈参加者〉

4名

〈アンケート結果一部抜粋〉

「身体に良い体操ができて良かった。」

「友達と買い物ができて良かった。」等



中運交企第191号  
令和6年3月21日

四日市市地域公共交通活性化協議会  
会長 伊藤 勝美 殿

中部運輸局長  
(公印省略)

令和4・5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】  
中部運輸局交通政策部 交通企画課  
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	四日市市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業	地域内フィーダー系統

### 二次評価結果

#### 評価できる取組

- ・乗り継ぎ拠点のバス待合室の窓に、バス利用を促す標語を設置し、待合室利用者以外にも見てもらうことでバス利用の啓発を行ったことを評価します。

#### 期待する取組

- ・引き続き、関係者との連携・共創の下、商業施設と連携した利用促進イベントなど、地域の方々に知ってもらい乗ってもらえるようなきっかけ作りにつながる取組の検討や実施を期待します。